

『東京タワー・キッズ環境科学博士 2016』

－ 開催概要 －

主 催： 「東京タワー・キッズ環境科学博士 2016」 実行委員会
共 催： 東京タワー（日本電波塔株式会社）
後 援： 一般財団法人 新エネルギー財団、一般社団法人 日本太陽エネルギー学会、
一般社団法人 燃料電池開発情報センター、一般社団法人 水素エネルギー協会、
一般社団法人 日本風力エネルギー学会、一般社団法人 日本作家クラブ
(申請中)： 東京都 環境局
特別協力： みなと区民まつり
協 力： 一般社団法人 未踏科学技術協会 エコマテリアル・フォーラム、
日本ボンド磁性材料協会、エコが見える学校、NPO 国際薬膳協議会、
IEEJ プロフェッショナル 電気理科クラブ
開催日時： 2016 年 10 月 8 日(土)～10 日(祝)
※プレス・招待者向け： 8 日(土) 10:00～12:30
※子供向けの展示観覧： 8 日(土) 13:00～18:00
9 日(日) 10:00～18:00、10 日(祝) 10:00～18:00
参加対象： 小学生・中学生 *一般も観覧可能
参 加 費： 無料 *展望台の費用は別途必要
事 務 局： 一般社団法人 スマートエネルギー産業振興機構
実行チームおよび実行委員：最終頁に掲載

「実施目的」

子供達に未来エネルギー発見と環境リサイクルの大切さを学んでもらう社会貢献型イベントであり、自然と共生できる真新の環境科学を探究し、将来、世界の模範となり得る循環型社会を構築するための人材育成と啓蒙普及を目的とする。

「実施内容」

東京タワーの大展望台、2F フットタウン、BF 東京タワーホール、正面玄関前など 4 会場にて開催予定であり、未来の水素社会ジオラマ、絶滅巨鳥の巨大卵や恐竜化石の展示、遊びながら学ぶリサイクル教室、持ち帰りありの環境科学教室、会場をめぐるエコ・スタンプラリー等が主たる実施内容となっている。

「来場者予想」

- 1) 2016 来場者予想：15,000～20,000 名（キッズと一般の合計予想）
*2015 年の来場実績は約 11,500 名
- 2) 2016 スタンプラリー参加者予想：5,000～6,000 名
*2015 年のスタンプラリー参加実績は約 4,200 名、修了者 2,100 名

「展示場所」 ＊計 4 箇所（主会場は地下の東京タワーホール）

- 1) 大展望台 ……水素・環境エネルギー関連の展示
- 2) フットタウン 2F ……水素エネルギー関連のジオラマ等の展示
- 3) 東京タワーホール BF ……子供向け参加型・体験型を中心とした展示
- 4) 1F 正面玄関前 ……エコ系エンジン車、水素自動車等の展示

「みなと区民まつり」とコラボレーション

- 1) 「みなと区民まつり」は 10/8～10/9 の 2 日間にわたり開催予定
- 2) 2015 年の「みなと区民まつり」参加者は約 23 万人
- 3) 港区コミュニティ情報誌(15 万部発行)の「みなと区民まつり」特集号にて紹介
- 4) 「みなと区民まつり」のイベントとして、東京タワーの屋外に「国際友好広場」と「世界のお酒とグルメの散歩道」のお店が多数出展予定

「キッズ向け自然&環境教室」の開催

- 1) 講座一回の参加人数を 20 名以内とし事前予約と当日受付の併用方式
- 2) 工作・組立て・実験等の参加型体験教室は 90 分以内で実施

「キッズ向けエコ・スタンプラリー」の実施

東京タワーの各展示場をめぐるエコ・スタンプラリーは、「エコ＝環境に優しい」をテーマにしたスタンプラリーであり、子供達がエコに関連するスタンプを集めながら、エコの世界を「見る、学ぶ、体験する」ことで、未来の水素社会、環境エネルギー、リサイクルとは何か？自然や環境に優しいとはどのようなことなのか？を発見してもらう学習ラリーとなっている。6 個のスタンプを集めたら、吉村卓三動物学博士の修了印がもらえる。

“エコ・スタンプラリー修了者に記念品を進呈”

2016 年 8 月

一般社団法人スマートエネルギー産業振興機構

「東京タワー・キッズ環境科学博士 2016」

実行委員会 事務局 伊達陸宏

「東京タワー・キッズ環境科学博士 2016」

ー実行チームおよび実行委員ー

『実行委員会・コアメンバー』

実行委員長：吉村 卓三（動物学博士）

副委員長：太田 健一郎（横浜国立大学 工学研究院 名誉教授 工学博士）

：関 和市（元東海大学 教授、元日本風力エネルギー学会会長 工学博士）

：小原 宏之（玉川大学 TSCP 総監督 工学部 教授 工学博士）

幹事委員：高見 弘（芝浦工業大学 工学部 教授 工学博士）

：中村 信也（東京家政大学 家政学部 教授 医学博士）

：川嶋 舟（東京農業大学 農学部 准教授 獣医学博士）

：勝呂 幸男（横浜国立大学 産学官連携研究員、元日本風力エネルギー学会会長）

：伊達 陸宏（一般社団法人スマートエネルギー産業振興機構 事務局長）

『実行チーム・実行責任者』

【大展望台】

- ・チーム「東京都水素エネルギー推進チーム」

実行責任者：東京都 環境局 次世代エネルギー推進課

- ・チーム「神奈川県エネルギーチーム」

実行責任者：神奈川県 産業労働局 エネルギー課

【フットタウン(2F)・東京タワーホール(BF)】

- ・チーム「グリーン水素」

実行責任者：太田 健一郎（横浜国立大学 名誉教授）

責任者補佐：石原 顕光（横浜国立大学 特任教員(教授)）

：永井 崇昭（横浜国立大学 産学官連携研究員）

【東京タワーホール(BF)】

- ・チーム「吉村自然ワールド」

実行責任者：吉村 卓三（動物学博士）

責任者補佐：川嶋 舟（東京農業大学 農学部 准教授）

- ・チーム「都内の山菜を広める会」

実行責任者：中村 信也（東京家政大学 家政学部 教授、国際薬膳協議会 理事長）

責任者補佐：中崎 巧（国際薬膳協議会 事務局長）

：小林 洋子（国際薬膳協議会 事務局長補佐）

- ・チーム「磁石すきすきチーム」

実行責任者：大森 賢次（日本ボンド磁性材料協会 専務理事）

責任者補佐：芳賀 美次（日本ボンド磁性材料協会 会長）

：井上 宣幸（日本ボンド磁性材料協会 技術委員）

- ・チーム「玉川大学・TSCP (Tamagawa Sustainable Chemistry-powered-vehicle Project)」
 実行責任者：小原 宏之（玉川大学 TSCP 総監督 工学部 教授）
 責任者補佐：斉藤 純（玉川大学 工学部 准教授）
 ：青木 俊夫（玉川大学 学術研究所 研究促進室）
- ・チーム「エコマテリアル・フォーラム」
 実行責任者：奈良 松範（諏訪東京理科大学 工学部 教授）
 責任者補佐：松本 真哉（横浜国立大学 理工学部 教授）
 ：篠原 嘉一（国立研究開発法人物質・材料研究機構 グループリーダー）
- ・チーム「エコが見える学校」
 実行責任者：海老原 誠治（三信化工株式会社）
 責任者補佐：新木 浩之（トーソー株式会社）
- ・チーム「光とホログラフィ」
 実行責任者：檜山 茂雄（多摩美術大学 造形表現学部 映像演劇学科 准教授）
 責任者補佐：佐藤 甲癸（元湘南工科大学 教授）
 ：石川 洵（石川光学造形研究所 代表）
- ・チーム「青木村地域自然エネルギー研究協議会」
 実行責任者：北村 政夫（長野県青木村 村長）
 責任者補佐：関 和市（青木村地域自然エネルギー研究協議会 会長）
 ：増田 公男（株式会社キャステク 代表取締役社長）

【正面玄関前】

- ・チーム「芝浦工業大学」
 実行責任者：高見 弘（芝浦工業大学 工学部 教授）
 責任者補佐：星野 太郎（株式会社 ダイエーコンサルタンツ）
 ：辰野 昭司（東京精電 株式会社）
- ・チーム「東京都市大学」
 実行責任者：伊東 明美（東京都市大学 工学部 機械工学科 准教授）
 責任者補佐：黒木 留見子（東京都市大学 地域連携センター 課長）
- ・チーム「多摩美術大学 LRT 研究グループ」
 実行責任者：亀谷 崇樹（多摩美術大学 メディアセンター）
 責任者補佐：勝間 ひでとし（湘南 LRT 研究グループ・元多摩美術大学 教授）

【自然&環境科学教室】

- ・チーム「IEEJ プロフェッショナル 電気理科クラブ」
 実行責任者：谷口 元（IEEJ プロフェッショナル 電気理科クラブ 代表）
 責任者補佐：武子 雅一（IEEJ プロフェッショナル 電気理科クラブ 担当主査）
 ：高見 弘（芝浦工業大学 工学部 教授）

以上

「東京タワー・キッズ環境科学博士 2016」

実行委員会 事務局作成